

単元名	体づくりの運動遊び(体ほぐしの運動遊び), ゲーム(鬼遊び)バナナ鬼	配当時間	3時間
単元の目標	(1) 手軽な運動遊びを行い, 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して, 自己の心と体の変化に気付いたり, みんなで関わり合ったりすることができる。 (2) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに, 考えたことを友達に伝えることができる。 (3) 運動遊びに進んで取り組み, きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり, 場の安全に気を付けたりしようとする。		

標準的な展開例

02100101_001

【準備等】赤白帽子, はちまきなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 体ほぐしの運動遊び, 鬼遊びのねらいと内容を確認し, 学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 ★友達と一緒に楽しく運動しよう。 ★ルールを工夫して, 鬼遊びを楽しもう。 ○体ほぐしの運動遊びをする。 ・のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行う。 ・リズムに乗って, 心が弾むような動作で運動を行う。 ・リラックスしながらペアでストレッチングを行う。 ・動作や人数などの条件を変えて, 歩いたり走ったりする運動を行う。 ・伝承遊びや集団による運動遊びを行う。 ○バナナ鬼のマナーや安全な運動の仕方について確認する ○バナナ鬼をする。	・いろいろな運動を楽しく行わせる。 ・一定の区域内で, 「追いかける」「逃げる」を中心とした鬼遊びを楽しむことを知らせる ・＜バナナ鬼のルール例＞ 鬼は逃げる人を追いかけてタッチする。逃げる人は鬼にタッチされたらその場で両腕を頭上に上げてバナナのポーズをとり, 立ち止まる。他の人にバナナの皮をむくように腕を1本ずつ降ろし, 2本の腕が降ろせたら, また鬼遊びに参加できる。 ・バナナ鬼以外の鬼遊びをしてもよい。
2 体ほぐしの運動遊びや, 鬼遊びを楽しむ。 ○体ほぐしの運動遊びをする。 ○こおり鬼をする。 ○反省し, まとめをする。 ・ルール, マナーなど	・いろいろな種類の運動を行う。 【評】体ほぐしの運動遊びをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・ルールは適宜変更してもよい。
3 体ほぐしの運動遊びを楽しんだり, ルールを工夫して鬼遊びを楽しんだりする。 ○体ほぐしの運動遊びをする。 ○こおり鬼のルールを話し合う。 ○こおり鬼をする。 ○単元のまとめをする。	・いろいろな種類の運動を行う。 ・＜工夫したルールの例＞ 鬼の数を増やす, 鬼を2人組にする, コートの形を変える, 助け方の方法を変えるなど 【評】ルールを話し合う活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・感想の発表や自己評価などをさせる。

【備 考】

体ほぐしの運動遊びは, 手軽な運動や律動的な運動を行い, 体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって, 自分の体の状態に気付く, 体の調子を整えたり, 仲間と豊かに交流したりすることができることをねらいとして行われる運動である。

鬼遊びは, 低学年の児童にとって抵抗なく学習に取り組める遊びであり, 好む児童が多い遊びでもある。さらに, 遊びを通して「走る」「方向を変える」「身をかかわす」などの動きを知らず知らずのうちに身に付けられる運動である。本単元では, 児童一人一人が友達と協力しながら鬼遊びに熱中できるようなルールを工夫させる。その中で, 楽しく遊ぶことと, 遊ぶための工夫の仕方を学ぶことができるようにさせる。

＜運動遊びが苦手な児童への配慮の例＞

～体ほぐし～

・表情を表す絵や感情を表すカードを示し, 自己の心や体の変化のイメージができるようにする。
 ・友達とハイタッチや拍手で喜びを共有するなど, 共に運動遊びをする楽しい雰囲気を実感することができるようにする。

・短い時間で鬼を交代したり, 逃げる場所を制限したり, 逃げる場所を狭くしたりする。

～鬼遊び～

・安全地帯を設けたり, 鬼の人数を一人から徐々に増やしたり, 鬼でない児童の人数を増やしたりする。